

3つの視点				かかわる	もとめる	はたす	かかわる	もとめる	はたす	かかわる	もとめる	はたす	かかわる	もとめる	はたす	かかわる	もとめる	はたす							
各教科指導目標	国語	○	◎	○	地理歴史	○	◎	○	公民	○	○	◎	数学	○	○	◎	理科	◎	○	○					
	・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力や思考力・想像力を伸ばし心情を豊かにして、自己理解や他者理解を深化させる。特に、基礎学力の向上に努める。 ・表現力の向上に努める。 ・読書の習慣を養う。				・地理・歴史・公民の3分野を通して、世界の特質や文化について理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を育てる。 ・自分の考え方や生き方を振り返り豊かな人間性や社会性を育むと共に、平和で民主的な社会の形成と発展に主体的に関わっていくこととする自覚を育てる。				・地理・歴史・公民の3分野を通して、世界の特質や文化について理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を育てる。 ・自分の考え方や生き方を振り返り豊かな人間性や社会性を育むと共に、平和で民主的な社会の形成と発展に主体的に関わっていくこととする自覚を育てる。 ・シチズンシップ教育を通し、生徒自らが主権者の一人であるという自覚を育てる。				・基礎的基本的な知識・技能を確実に身につけ、思考力・表現力を育成し、学ぶことの意義や有用性を実感し、日常生活や進んだ学習へ活用できるようにする。特に基礎学力向上のため、基本的事項の定着の徹底を図る。				・実験や観察を通して科学的なものの見方・考え方を身につける。 ・人間と自然との関わり合いについて興味・関心を持たせ、自然を大切にし、環境を保持しようとする態度を養う。								
	保健体育	◎		○	○	芸術	◎		○	○	外国語	◎		○	○	家庭	○		○	◎	商業	○		◎	
・各種の運動の合理的な実践を通して、体力の維持向上を図るとともに、公正・協力・責任などの態度を育て、コミュニケーション能力や周りの協調性を養う。 ・個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深めながら、自己の健康管理能力を高め、明るく活力的のある生活を送る態度を育てる。				・芸術的視野を広め、芸術を愛好する心情や感性を高め、創造的な表現力と鑑賞の能力を育成し、自己の才能を伸展させる。				・基本事項の定着を心がけ、比較的平易な英文を読解し、簡単な内容を表現できる力を身につけさせる。ノートやワークブックなどの取り組み状況をこまめに点検し、英語学習の習慣づけを行う。また、音読にも力点を置き、英文の内容把握だけでなく、英語力の幅広い向上に努める。				・自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力の育成に努める。 ・家庭生活の重要性を認識させ、思いやりのある自立した人間の育成に努める。 ・実習・実験を通して、日常生活に必要な生活技術を習得させる。				・経済社会の仕組みを理解するなかで、望ましい人間関係の形成や社会性、社会的なモラル、ビジネスマナーなどの倫理観の育成を図る。 ・商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスに対する望ましい心構えやコミュニケーション能力を身につけさせる。 ・ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。									
各学科指導目標	流通マネジメント科	○	◎	○	情報システム科	○	◎	○	〇A会計科	○		◎	○												
	・流通ビジネス分野に関する知識・技術ならびに経済社会の変化に柔軟に対応する能力を習得させ、個々の進路に適応し活躍できる人材を育成する。 ・リテールマーケティングやビジネス文書検定の上位資格取得を目指す。進路実現に対する意識向上を図る。 ・「経教育」の徹底、ビジネスを学ぶものとして、実社会で必要とされる身だしなみ、言葉遣いを身につけさせる。 ・流通ビジネス分野の関連科目における、教材の共有及び科目間連携の強化を図る。 ・コミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を育成する。				・基礎学力の向上を重視するとともに、情報処理に関する分野についての知識と技術を習得させ、コンピュータの業務に従事する者としての資質を養う。 ・ICTの利用技術や正しい利用方法に関する指導を深めるとともに、ネットワークの効果的な活用についての研究を深める。 ・情報処理および商業に関する上級資格取得に向けて指導を強化し、進路実現に対する意識の向上を図る。				・経理事務に関する知識・技能の系統的な学習を通じて、即戦力となる人材を育成する。 ・簿記検定の資格取得を重視し、特に日商簿記検定2級合格者の育成を目標とする。 ・情報処理に関する基礎的な知識・技能を習得させ、進展する情報化社会への適応力を養う。 ・実践的な学習を通じて、特に職業人としての責任感・協調性を備えた人物を育成する。																
学年共通					かかわる	もとめる	はたす	各学年指導目標																	
指導内容	①朝読書				○	○		1年	・高校生活に適応するとともに、他者との望ましい人間関係を築く。 ・進路の意識化を通じて、学習意欲を喚起し、望ましい学習態度を養う。 ・部活動に積極的に参加し、集団の中での自らの役割を自覚し責任を果たす。 ・心身の健康を増進し、集団の一員として貢献する能力と態度を身につける。																
	②週末課題				○	○																			
	③スタディサプリ（学習学びオンライン学習）				○	○																			
	④学習到達度テスト					○		2年	・基礎学力の向上を図り、幅広い教養を身につけ、上位級の資格検定取得に努める。 ・マナーやルール等、基本的な生活習慣を確立し大商生としての愛校心や帰属意識を持たせ、校是「文質彬樹」を行動で実践する。 ・部活動と学習活動の両立を図り、挨拶の徹底や他者への心遣いと感謝の気持ちを養う。 ・インターンシップを通して自らの勤労観、職業観について価値観の形成を図る。 ・自己の職業的な能力適性を理解し将来設計を図る。																
	⑤進路ガイダンス				○	○																			
	⑥身だしなみチェック				○	○																			
	⑦町内清掃活動						○	3年	・「大商ブランド」の強化により「働き続ける力」、「学び続ける力」の育成を目指す。 ・学習意欲の向上を図り、基礎学力を定着させ、個に応じた進路実現を目指す。 ・高資格取得をとおして専門的な知識と技能を高める。 ・学校行事、部活動等とおして最上級生としてのリーダーシップを発揮し、体力、気力、社会性を高める。 ・自分の能力、適性を的確に判断して卒業後の進路を決定する。																
	⑧読書会				○																				
	⑨挨拶・マナーアップ運動				○	○	○																		
指導内容					ねらい			指導教科等		実施時期		時数	かかわる	もとめる	はたす										
1年	①新入生オリエンテーション				高校生活の目標設定から基本的な生活習慣の確立を図る。			LHR		4月		1	○	○											
	②スタディサプリ				学習意欲を喚起し望ましい学習習慣や態度を養う。			LHR		6月		1	○												
	③学習到達度テスト				学力の弱点領域の補強により学力定着を図る。			LHR		9月		1	○												
	④進路セミナー				学ぶこと働くことの意義を理解し将来の進路選択に繋げる			LHR		12月		1	○												
	⑤進路を考える				働くことの意義や将来の進路を踏まえた学習計画を立てる。			LHR		2月		1	○	○											
2年	①2年生になって				部活動と学習活動の両立を図り夢の形成に繋げる。			LHR		4月		1	○	○											
	②インターンシップ				職場体験学習をとおして勤労観や職業観を養う。			LHR・総合		6・7月		20	○		○										
	③進路発見検査				基礎学力の向上を図り資格取得に努め自分の適性と進路を確認する。			LHR		7月		1	○												
	④進路セミナー				職業と仕事内容を知り将来の進路に繋げる。			LHR		12月		1	○												
	⑤3年生の話しを聞く会				先輩たちの取り組みから自分の進路について深める。			LHR		2月		1	○	○											
3年	①進路講話				卒業後の自らを考え進路についての情報を得る。			LHR		4月		1	○												
	②進路別ガイダンス				自分の進路に合わせた説明から進路意識の高揚を図る。			LHR		4月		1	○												
	③オープンキャンパス・職場訪問				希望進路先を訪問し最終進路設定の参考にする。			LHR		7・8・9月		3	○												
	④入社準備セミナー				社会人としてのマナーやビジネスマナーを身につける。			LHR		11月		2	○												
	⑤自分史の作成（未来への生活）				働く意義・職業人、社会人としての責任を確認する。			LHR		1月		1	○	○											
												合計時数	37												